

補助事業番号 21-122

補助事業名 平成 21 年度 中東諸国の産業経済開発に対する協力推進補助事業

補助事業者名 財団法人 中東協力センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

中東地域は、我が国にとって石油・天然ガスの安定調達先として極めて重要である。原油高を背景に中東各国は従来の石油依存経済の脱却をめざし、外資導入による経済発展をめざしている。一方長年にわたる懸案事項であるパレスチナ問題に加え、2001年9月の米国同時多発テロに端を発するアフガン戦争、それに続くイラク戦争等の戦後処理など、政治的には引き続き不安定で緊迫した状態が続き、ビジネス面でのリスクは高い。特に産油国経済は上昇を続ける石油価格を背景にオイルマネーが流入し、昨今は著しく活況を呈してきている。

また中長期的にも、化石原・燃料資源の豊富な賦存状況、高い人口増加率等の面から、今後とも相対的に高い成長が見込まれる地域であり、我が国機械工業関係企業にとって、プラント、機械類を中心にしたビジネス・ポテンシャルは高く、我が国機械工業の振興に今後とも資するところ大なる地域である。

このように高いポテンシャルを持つこの地域で、日本の機械工業関係企業が欧米を中心とした競合先に伍してビジネス・チャンスを的確に捕捉し、取引実績・成果を上げていくためには、先ずその第一歩として、中東を巡る政治・経済情勢、文化、歴史、宗教等広汎な分野に亘り正確な理解が不可欠である。

当センターの国際交流、調査研究、研修等の貴振興会補助事業は我が国機械工業関係者に、中東についての最新の情報を提供し、中東におけるプラント、機械類を中心としたビジネスの拡大を目的とするものである。

(2) 実施内容等

① 国際交流

ア. 中東先端産業ビジネスフォーラム

<http://www.jccme.or.jp/japanese/pdf/20100222.pdf>

駐日イスラエル大使館との共催で「バイオ・メディカルテクノロジー コンファレンス イスラエル・日本」セミナーを、ヒルトン東京において開催した。イスラエル側からバイオ・メディカルテクノロジー企業紹介プレゼンテーションが行われ、200人を超える参加者を集めた。またイスラエル企業と日本企業との個別面談が行なわれた。

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済ビジネス動向調査

(i) 「アラブ首長国連邦における「脱石油」への経済政策の検証」

アラブ首長国連邦を牽引するアブダビ首長国の経済政策の現状と、日本企業の役割に関する調査を株式会社コスモ総合研究所に委託した。同研究所 経済調査部経済調査グループ 主任研究員・星野一朗氏、同副主任研究員・石島和紀氏により現地調査が実施された。

(ii) 「サウジアラビアの新エネルギー開発における本邦企業の役割の検討調査」

サウジアラビアにおける太陽光・太陽熱・風力といった再生可能エネルギーや原子力等の新エネルギー、更には効率的なエネルギー利用技術の活用の可能性について分析し、日本企業の役割を明らかにすべく、本調査を財団法人日本エネルギー経済研究所・中東研究センター委託した。同財団 研究主幹、谷尾恭一氏、同大先一正氏により現地調査が実施された。

イ. 中東・北アフリカ政治経済情勢分析

変動著しい中東情勢や石油市場動向を的確に把握するために、最新の情報（論文）を海外の中東問題専門家から入手、分析・検討を加えて資料を作成し、会員企業他関係団体に配布した。また、論文は、中東協力センターのホームページにも掲載した。

論文 8 本は以下の通り。

- 1) バッサム・ファトウ氏（オックスフォード・エネルギー研究所（英国））
「中東諸国の原子力政策」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-106.pdf>
- 2) ジョン・B・アルターマン氏（戦略・国際研究センター（CSIS-米国））
「オバマ政権の中東地域への関与」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-105.pdf>
- 3) キャリーム・サッジャードプール氏（カーネギー国際平和財団（米国））
「直接対話の分析—オバマ政権誕生 1 年後の対イラン政策の評価—」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-117.pdf>
- 4) サミール・プラダーン氏（ガルフ・リサーチ・センター（ドバイ））
「アラブ連盟（LAS）加盟国間貿易を通じたアラブ諸国間関係の考察と展望」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-104.pdf>
- 5) サミール・プラダーン氏（ガルフ・リサーチ・センター（ドバイ））
「国際的文脈における湾岸諸国の航空会社」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-116.pdf>
- 6) ライド・ファウズィ・イフムード氏（アラブ戦略研究所（ヨルダン））
「2003 年以降のアラブ諸国の対イラク外交政策 事例研究：サウジアラビアとヨルダン」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-115.pdf>
- 7) コントロール・リスクス社
「イラクに関する脅威評価報告」
<http://www.iraq-jccme.jp/archives/report/201001/>
- 8) ハーバート・スミス外国法事務弁護士事務所

「イラクにおける担保の取得について」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-114.pdf>

③ 研修

ア. 中東セミナー

平成 21 年 10 月 8 日、東京麹町のホテルルポール麹町において会員企業を中心に 90 名強の参加者を得て標記講座を開催した。

本事業は中東関係業務に携わっている会員企業、関係機関、団体等の若手・中堅社員を対象に、中東における諸問題の歴史的背景、社会文化の特色、政治・経済及びエネルギー問題の動向等を紹介し、参加者の中東理解を深めることを目的とするものである。

講師、テーマについては次の通り。

- 1) 出川展恒氏 日本放送協会 放送総局解説委員室 解説委員
「緊迫する中東情勢」
- 2) 門至氏 タカタ（株） 社長室 シニアオフィサー
「中東でのビジネス展開に当たって—その多様性とダイナミズム—」
- 3) 畑中美樹氏 （財）国際開発センター エネルギー・環境室研究顧問
「サブプライムショック後の中東」
- 4) 橋本剛氏 （株）商船三井 執行役員
「新たなエネルギーとその市場について—カタールの LNG プロジェクト—」
- 5) アルモーメン・アブドラー氏
大東文化大学国際関係学部講師
サウジアラビア王国大使館文化部スーパーバイザー
「アラブの世界、そこが知りたい！—アラブ人取扱説明書—」

2 予想される事業実施効果

① 国際交流

ア. 中東先端産業ビジネスフォーラム

「バイオ・メディカルテクノロジー コンファレンスイスラエル・日本」セミナーはイスラエルの国際市場を視野に入れて活動するバイオ・医療産業企業および関連企業を招聘し、共同技術開発やライセンスなどの可能性を追求し、日本企業との新たなビジネスチャンスの開発を図る交流の場を提供した。この交流を契機として両国企業間での提携等今後の関係の発展・強化が期待される。

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済ビジネス動向調査

本調査事業では、情報量の比較的少ない中東諸国を対象に、我が国企業が関心を有するテーマをその都度選定し、中東での職務経験の豊富な調査員を現地に派遣し、出来るだけ具体的な実態調査を実施しているので、その報告書は中東ビジネスに関心を有する企業にとって最新の有力情報として活用が期待される。

イ. 中東・北アフリカ政治経済情勢分析

最新の中東情報（論文）を海外から入手し、分析・検討を加えて中東に関する必要な情報を会員企業他関係団体に提供するものであり、今後、企業が同地域に投資を進める上で有効な情報としてその活用が期待される。

③ 研修

ア. 中東セミナー

中東の政治、経済、社会・文化、エネルギー等の分野に関する入門講座であるが、各分野の専門家及び実業家による講話は中東経験者にも好評であり、中東を考察する上で参加者の今後の中東ビジネス推進に役立つ講座であると期待される。

3 本事業により作成した印刷物

① 国際交流

ア. 中東先端産業ビジネスフォーラム

「バイオ・メディカルテクノロジー コンファレンス イスラエル・日本」 ブックレット	作成部数	300部
--	------	------

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済ビジネス動向調査

「アラブ首長国連邦における「脱石油」への経済政策の検証」	作成部数	100部
------------------------------	------	------

「サウジアラビアの新エネルギー開発における本邦企業の役割の検討調査」	作成部数	130部
------------------------------------	------	------

イ. 中東・北アフリカ政治経済分析

「中東諸国の現状と今後」	作成部数	110部
--------------	------	------

③ 研修

ア. 中東セミナー

「中東入門講座」 テキスト	作成部数	120部
---------------	------	------

4 事業内容についての問い合わせ

団 体 名： 財団法人 中東協力センター（チュウトウキョウリョクセンター）

住 所： 〒102-0075

千代田区三番町 8 - 1

代 表 者： 会長 奥田 碩 （オクダ ヒロシ）

担 当 部 署： 総務部（ソウムブ）

担 当 者 名： 総務部長 中島 馨 （ナカジマ カオル）

電 話 番 号： 03-3237-8026

F A X 番 号： 03-3237-8018

E - m a i l： nakajima@jccme.or.jp

U R L： <http://www.jccme.or.jp/>